

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		子育て短期支援				所管	区民部 子ども家庭支援センター				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	222	計画事業名	子どもトワイライトステイ・ショートステイ		事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成					[事業開始] 平成22年度				
		[小 柱] (2)就学前児童に対する教育・保育の充実					[終了予定] - 年度				
		[施 策] ②多様な保育サービスの展開									
	根拠法令等	法令(義務)	〔法令等名〕			児童福祉法、子ども・子育て支援法、台東区子育て短期支援事業実施要綱 台東区乳幼児ショートステイ事業実施要綱					
	事業対象	直接の対象 : 台東区に住所を有する0歳から小学校6年生までの健康で集団保育が可能な児童 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	保護者の疾病、仕事その他の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難になった児童に対して養育を行い、児童および家庭の福祉の向上を図る。									
事業内容 [29年度]	①ショートステイ事業(宿泊型一時保育)定員:5人/日 利用限度:7日(月) 利用金額:6000円/1泊 ②トワイライトステイ事業(夜間一時保育)定員:5人/日 利用限度:30日(6カ月) 利用金額:2000円/回 受付:日本堤子ども家庭支援センター 実施施設:ほうらい子育てサポートセンター ③乳幼児ショートステイ事業(宿泊型一時保育)定員:1人/日 利用限度:7日(月)利用金額:6000円/1泊※H27.10月より事業開始 受付:日本堤子ども家庭支援センター 実施施設:日本赤十字社医療センター附属乳児院										
委託の有無	一部委託	委託内容		ショートステイ・トワイライトステイ事業運営							
補助金の有無	国・都										
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率				
	活動指標	定員/日(ショートステイ・乳幼児ショート)	日	6	6	6	6	6	100.0%		
		定員/日(トワイライトステイ)	日	5	5	5	5	5	100.0%		
	成果指標	ショートステイ・乳幼児ショート利用数	泊	230	86	47	120	230	52.2%		
		トワイライトステイ利用数	回	75	6	50	31	75	41.3%		
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度		
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				6,416		5,531		6,285	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				12,981		16,068		16,258	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0		0		0	
		総経費				19,397		21,599		22,543	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				70		143		270		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				472		332		754		
	一般財源(区負担額)				18,855		21,124		21,519		
前回評価から29年度に改善した事項	台東子ども家庭支援センターに申請受付窓口を新設し、利用者の利便性の向上を図った。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	4	保護者の疾病・仕事・育児疲れ等への支援を行うことは、育児支援・児童虐待防止の観点から、必要な事業である。ショートステイ・乳幼児ショート利用数は増加しており、ニーズは高まっている。								
	効率性	3	申請窓口の増加と保健センターとの連携による周知活動が進んだことにより、ショートステイの利用者は増加した。								
	手段の適切性	3	新規の場合は利用登録、更新の場合は面接等が必要となる。事前に家庭の養育状況を把握することで、円滑な利用を進めることができた。また、申請窓口を増やしたことで、利用者の利便性が高まった。								
目的達成度	2	申請窓口の増加と、一時的に養育困難な家庭を適宜適切にサービスに繋げた事によりショートステイの利用数は増えているものの、目標値との間に差がある。また、トワイライトステイは、利用者数が減っているため、さらに利用促進を図る必要がある。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
育児支援・虐待防止の観点から、適宜適切に育児状況を把握し、サービスに繋げることを意識したきめ細かな対応を行った。また、台東子ども家庭支援センターに申請窓口を増設し、台東保健所との連携による周知活動が進んだことによりショートステイの利用数は増加した。更なる利用数の増加をめざし、関係機関と連携し周知方法を改善していく。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			